

コロナ禍でもできることを 交通安全の立哨活動を実施



1月17日(日)、あすばる大崎前の交差点において、交通安全運動キャンペーンが実施されました。

これは、町地域女性連絡協議会が主催し、志布志警察署の協力のもと行われ、運転者に啓発チラシやマスク、カイロなどを配り、安全運転を呼びかけました。

東美知子会長は「コロナ禍でもできることを考え今回の実施となりました。ご協力いただいた志布志警察署の皆さまに感謝いたします」と述べられました。

受験生のみんな頑張れ！ 富士屋製菓が開運飴などを寄贈



1月8日(金)、大崎中学校において、富士屋製菓有限会社から受験生に対し、飴の寄贈が行われました。

受験生を応援したいという気持ちから、自社製品である開運飴とコミュニティスクールで生徒と共同でデザインしたあまびえがパッケージされた飴など、110セットが寄贈されました。

小野卓也社長は「受験を乗り切り、明るい未来がくることを祈って寄贈いたします」と述べられました。



大崎中学校でキャリア教育 『職業人』から学びました

1月22日(金)、大崎中学校において、『職業人に聞く』と題したキャリア教育授業が、1年生を対象に行われました。

保育士や調理師、医師など様々な職業の方が講師を務め、生徒が自ら興味がある職業を選択し授業を受けました。

講義では、自身の職業の内容やその職業について理由などの講義が行われました。

スポーツ選手として講師を務めた鹿児島県体育協会所属の青柳唯さんは「夢をしっかり持っている子が多いことに驚きました。夢が実現するように私なりのエールを送りました」と述べられました。

公務員として講師を務めた役場企画調整課の中村健児課長補佐は、町のリサイクルの取組みとSDGsについて授業し、参加した生徒によるマイSDGs宣言が行われ、SDGsへの理解を深めました。

